

1. 環境学習コーディネート実施概要（Web掲載）

依頼No	1	事例No	2	依頼者	西尾市交流共創部 佐久島振興課	実施場所	佐久島
実施対象	愛知県内の小学生とその保護者、一般（16名）						
実施日時	令和2年9月20日（日）13時～14時30分						
テーマ	島おこしの事業の一環として、佐久島の大きな魅力のひとつである「自然」にスポットを当て、年間を通じて島の自然に触れ、学ぶ場を作る。						

●依頼内容

三河・佐久島アートプラン21 令和2年度事業 自然観察会（磯の生き物）の講師の紹介。

●講師：戸館真人氏（蒲郡市竹島水族館副館長、飼育主任、学芸員）

戸館氏は蒲郡市竹島水族館学芸員であり、副館長、飼育主任を務めている。日頃から学芸員として、幼児から大人まで竹島水族館を訪れた人々に水辺の生き物についての解説などを行っている。

●授業の内容

事前説明	開催に先立って、西尾市の担当者から今日の観察会についての説明が行われた。続いて、講師から、海の生き物の観察・採集を行うにあたって、毒のある魚（アイゴ）に気をつけるよう注意事項の説明があった。また、当日の午前講師が現地で採集した珍しい生き物「タツノオトシゴ」が紹介された。	10分
観察会	参加者全員で海に入り、生き物の観察、採集を行った。その結果、アマモ、ギマ、シマイサキ、クロサギ、サザナミフグ、アミメハギ、ヨウジウオ、オクヨウジ、ヒメハゼ、アイゴ（毒があると説明のあった魚）、ガザミ、イシガニ、ベニツケガニ、コブヨコバサミ、ホンヤドカリ、サンショウウニ、スガイの17種類の生き物を採集することができた。	50分
座学（まとめ）	砂浜に再び集まり、みんなで採集した生き物ひとつひとつについて、講師から名前が紹介された。最後に、講師から今日の授業のまとめとして、多くの生き物がこれからも棲み続けられるよう、海を汚さないように気を付けてほしいというメッセージが伝えられ、そのために食べ残しをしない（味噌汁一杯を流してしまうとそれを薄めるためにお風呂何倍分もの水が必要になる）ことやレジ袋のポイ捨てをしないという話があった。	20分

●授業の様子

参加者全員で海に入って生き物を採集し、観察を行いました。生き物の採集では、タモやバケツを手にも大人も子どももひざあたりまで水に入って、楽しそうに生き物を探していました。観察会の後の座学では、多くの生き物が見つかったことに驚きながら、海を汚さないでという講師からのメッセージを真剣に聞いていました。最後に、採集した生き物は海に放流しました。

みんなで海に入って生き物を採集し観察しました。



採集した生き物の名前をみんなで学びました。

